



新型コロナウイルス感染症と診断された方へ



新型コロナウイルスに感染すると・・・

主な症状

- 発熱、咳嗽、倦怠感など、風邪のような症状が起こります。
- 症状が進むと肺炎になって、呼吸苦や胸の痛みなどが現れます。
- 重症になると生命に危険を及ぼす状態となり、集中治療室での治療が必要となります。
- 他人への感染力が強いため、感染を広げないように隔離が必要となります。

入院の目的

- 症状がなくても、PCR 検査で陽性と診断された方は、感染拡大を防ぐために専門の病院に入院が必要となります。
- 症状が軽くても、経過で症状が悪化する場合があるので、医師が退院を許可するまで入院が必要です。
- PCR 検査で陽性と診断された方は、症状が軽快しても図1の期間は隔離が必要となります。

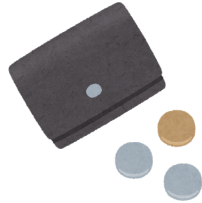


入院期間



持参するもの

入院中は病院内の売店へ買い物に行くことはできません。そのため、以下の物品をご用意して入院をお願いします。



現金



いつも飲んでいるお薬



お薬手帳



健康保険証



マスク



充電器



アメニティ



下着



コンタクト用品



おやつ

- 現金（テレビカードや生活必需品を購入するお金）
- いつも飲んでいる薬、湿布薬や軟膏など（医療機関から処方されている場合はお薬手帳）
- マスク
- 携帯電話やタブレットなどの充電器
- アメニティ（寝巻き、タオル、歯磨き、ボディソープ、洗髪剤、髭剃りなど）※医療機関によってはレンタルをしている場合があります。各自入院する医療機関にお問い合わせください
- 下着（ご自分で洗濯する場合、衣類用洗剤も持参ください）
- 衛生用品（生理用品、コンタクト洗浄セットなど）
- おやつ（お菓子やペットボトル飲料）※温かいお飲み物を召し上がる場合は湯沸かし機能付き魔法瓶をお持ちください。

お子様が入院する場合



- おもちゃ
- 紙オムツ
- 哺乳瓶、粉ミルク、哺乳瓶洗浄セット（食器用洗剤、スポンジ、消毒液など）
- 湯沸かし機能付き魔法瓶（粉ミルクを作るため）
- パジャマ
- 歯磨きセット
- フォークやスプーン



- 病室は感染が広がらないように換気力が非常に高くなっています。そのため、窓を開けて換気する必要はありません。
- 窓を開けると、窓から入る風がウイルスを病院の中に運んでしまいます。そのため、窓を開けることはできません。
- 医師がウイルスの感染力がなくなるのを確認するまで、病室の外には出られません。面会者に会うこともできません。
- 病室を含め病院敷地内は全面禁煙です。
- 病室の浴室にはシャンプーやリンス、ボディソープなどホテルのようなアメニティの備え付けはありません。ティッシュなども備え付けはありません。
- 病室のテレビを使用するには、テレビカードが必要になる場合があります。



入院中のお食事

入院中のお食事は入院費の中に含まれていますので、朝昼晩食事を提供します。病院でお出しするお食事は、患者さんの健康状態に合わせて献立を考えています。宗教上の理由、または文化の違いで食べられない献立がある場合は、入院時に職員にご相談ください。

薬や検査について

- 新型コロナウイルスを必ず治せる特効薬はありませんが、つらい症状が改善する薬の処方が必要になるときもあります。その場合は指示通り薬を服用し、症状が落ち着くまで安静と隔離を維持してください。
- 新型コロナウイルスに感染しても、必要がなければCTやPCRなどの検査は行いません。
- 医師が必要ないと判断した検査の希望には添えませんのでご了承ください。
- 病気や治療についての疑問があるときは、医師や看護師にご相談ください。

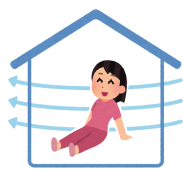


退院後の生活

図1の期間が経過し、さらに症状軽快が持続すると退院が検討されます。退院後も油断せず、各自健康観察を行いながら下記項目を守ってください。



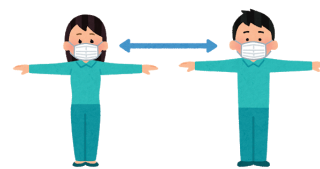
マスクの着用



部屋の換気



毎日の体温測定



ソーシャルディスタンス

図1

PCR検査

陽性と診断された日

最低10日間経過後

※無症状のまま経過した場合は検体採取日=発症日として日数を数える

発熱症状

解熱(37°5分以下)を確認した時間

最低72時間経過後

両方の基準を満たしていないと退院はできない。

退院の基準となる一例

PCR検査の結果は退院基準にはならないため、退院を決定するためのPCR検査は行いません。